

株式会社白山瀨波 地域活性化イベント『ゴリの放流体験』を開催しました。

平成 27 年 10 月 31 日（土）に、『ゴリの放流体験』を開催しました。清流にのみ棲むゴリ（カジカゴリ）を定期的に放流することで、自然と生態系を崩さず、未来に「清流」瀨波川を守ることを目的として放流を行いました。瀨波川には以前は沢山のゴリが生息し、当地では「幻のさかな」とさえ言われた時期もありましたが、河川の公共工事等により減少し、ほとんど姿を見ることができなくなってきました。3 年程前から地元壮年団（瀨波まんさく会）による放流事業を開始し、徐々にではありますが、ようやく川で新たに自然孵化した小さなゴリを見ることも出来るようになり、近年、ゴリ採り体験を行った瀨波川キャンプ場の利用者より、喜びの声も聞こえるまになっています。

今回、地元小・中学生及び保護者約 40 名が参加し、石川県内水面水産センターの職員の方から「ゴリの生態系」についての講演や「ゴリの放流方法」の指導をしていただき、地元建設関連業者 2 社（前多産業様、加賀土木様）と当社の親会社である株式会社中央設計技術研究所の協力も得ながら、放流を通じた自然への関心と大切さを知る機会の提供、社会教育ボランティア活動、地域社会への貢献を目指し開催しました。

これからも地域の方々や各種団体と連携しながら、地域活性化に向けて積極的に取り組んで参ります。

以上

<本イベントに関するお問い合わせ先>



〒920-2323 石川県白山市瀨波子 19 番地 5
TEL (076)255-5288 FAX (076)255-5289
担当: 広崎



小中学生ら40人が参加 白山瀨波がゴリ放流体験事業

中央設計技術研究所（金沢市、中辻英一社長）が設立した地域活性化会社の白山瀨波が、石川県白山市、西原秀幸社長の初イベントとなるゴリの放流体験事業が10月31日、清流の郷「瀨波川キャンプ場」（白山市瀨波）で、地元小・中学生や保護者ら約40人が参

加して開かれた。写真。清流にのみ棲むゴリ（カジカゴリ）を放流することで、未来に「清流」瀨波川を守ることを目的に、3年程前から地元壮年団（瀨波まんさく会）による放流を開始。今回は白山瀨波の後援のもと、昨年と同様に前多産業と加賀土木の地元建設業者2社に加え、新たに中央設計技術研究所の協力も得ながら、未来を担う子ども達に放流を通じて自然への関心と大切さを知る機会を提供しようと実施した。

同日は、今年春に孵化した体長2〜3寸のゴリの稚魚約8000匹を放流するとともに、ゴリの稚魚の仕入先である石川県内水面水産センターの職員がゴリの生態系に関

して講演した。



放流している子供・保護者達



石川県内水面水産センター職員様による講演



石川県内水面水産センター職員様による講演



放流するゴリを見る子供達



放流に向かう子供達



放流している子供・保護者達



放流している子供・保護者達